



Rotary



インスピレーションに
なろう

国際ロータリー第2520地区岩手第1分區
盛岡東ロータリークラブ

Weekly Report No. 25 (通算1767回)

Home Page : <http://www.moriokahigashi-rc.com/>

E-Mail : jimukyoku@moriokahigashi-rc.com

2018-2019年度テーマ

BE THE INSPIRATION

インスピレーションに나ろう

国際ロータリー会長 バリー・ラシン氏
第2520地区ガバナー 田中堯史(盛岡)

会長挨拶 菊地国明



先週はロータリー関連の行事で盛岡市内会長幹事会・盛岡ロータリークラブ80周年記念式典・祝賀会に出席してきました。式典は県知事・盛岡市長もご出席になり粛々と行われました。会員も80名以上在籍している

ので準備等も万全のように見受けられました。

さて、今年は暖かくなるのが早いようですが、これからは花粉症の季節になります。スギ花粉エキスを舌の下に垂らしアレルギー体質の改善を目指す舌下免疫療法というスギ花粉症の治療法があり私も勧められ治療しています。

この療法はアレルギーの原因物質エキスを1日1回舌の下に含み少しずつ体を慣らして症状の抑制を目指す治療で注射を受ける免疫療法に比べて痛みが少なく、自宅で簡単に服薬でき、治療の満足度も高いようです。治療は3年ぐらいかかるそうです。ただアレルギーの度合いが高いと治療はできないそうです。昨年度、血液検査でアレルギーの検査を行いました。よくもここまでアレルギーがあるものだと感じました。このような治療もあるので一考を。

次回プログラム

- 3月 4日(月) 理事役員会 11:30
昼例会 卓話 瀧川誠君
- 3月 11日(月) 昼例会 卓話 柴田茂君
- 3月 18日(月) 夜例会 18:30
会場 利久
- 3月 25日(月) 昼例会 卓話 工藤光機君

会長 菊地国明 / 幹事 藤枝薫

事務所 〒020-8501 盛岡市愛宕下1番10号
盛岡グランドホテル内
TEL 019-601-5390 / FAX 019-601-5391

例会場 盛岡グランドホテル
TEL 019-625-2111

例会日 毎週月曜日12:30 / 第3月曜日18:30
但し、第3月曜日は(18:30~)会場が変更になる場合があります。

昼例会

司会: 尾形昌彦
日時: 2019.2.25(月) 12:30
会場: 盛岡グランドホテル
●ロータリーソング
四つのテスト

2018-19年度国際ロータリー第2520地区
地区大会のご案内

- 親睦記念ゴルフ大会
会場: メイプルCC
日時: 4月19日(金) 7:30受付 8:15開会式
会長幹事会(会長幹事のみ)
会場: 盛岡グランドホテル
日時: 4月20日(土) 14:00受付
RI会長代理 田中正規氏
歓迎晩餐会 17:00
- 本会議(11:30受付 昼食の準備あり)
日時: 4月21日(日)
会場: 盛岡グランドホテル
・本会議 12:30開会点鐘~15:30閉会点鐘
・記念講演 15:50
講師 池谷裕二氏
東京大学薬学部教授・脳研究者
・大会懇親会 17:20開宴~18:50閉宴

◇幹事報告 藤枝薫

諸事お知らせ

2月ロータリーレート 1ドル110円

ガバナー月信2月号

2018-19年度青少年交換短期研修生オウホマチム

受入れ案内 6/14~6/27

◇スマイル報告 瀧川誠

浦田秀夫君

おめでとうございます。

ご夫人セツ子様誕生日 2月17日

工藤嘉君

おめでとうございます。

ご夫人千恵子様誕生日 2月24日

木村さん柴田さんステキなお花ありがとうございました。

木村昭仁君

花市場では桜や桃で春めいています!!

深澤永二君

おめでとうございます。

結婚記念日 11月23日

遅くなりました。

岩渕真幸君

春めいてうれしいのでスマイルします。

◇寄付金報告

ロータリー財団 100ドル 岩渕真幸君

米山記念奨学会個人特別寄付金 10000円 高橋耕君

米山記念奨学会個人特別寄付金 10000円 柴田茂君

◇出席報告 瀧川誠

会員数25名 出席数18名 欠席数7名 出席率72%

会長幹事会2/21 菊地会長・藤枝幹事出席

盛岡RC80周年2/23 菊地会長・藤枝幹事出席

RLI-III 2/24 柴田会長レクト出席

卓話 岩渕真幸

明日は、水沢出身の海軍大将で総理大臣も務めた斎藤実の命日です。そして斎藤が昭和11年（1936）年に起きた二・二六事件で襲撃・暗殺されてから83年目に当たります。本日は最近読んだ本で、刑死したはずの青年将校と中国大陸で遭遇した記述を2件見つけましたので。卓話のテーマに選んでみました。

二・二六事件は、陸軍皇道派青年将校によるクーデター。2月26日早暁、約1500人の在京部隊が、首相・蔵相官邸、警視庁はじめ、政府首脳や重臣の官・私邸などを襲撃しました。岡田啓介首相と誤認された義弟で秘書であった松尾伝蔵海軍大佐が射殺されたのはじめ、高橋是清蔵相、斎藤実内大臣、渡辺錠太郎・陸軍教育総監が殺害され、終戦時の首相となる鈴木貫太郎侍従長が重傷を負いました。29日に戒厳司令部は下士官・兵に帰順を呼びかけるなどして、前代未聞のクーデターは4日間で終結しました。

4月28日に陸軍軍法会議が特設され、7月5日に主謀者の青年将校ら17人に死刑が言い渡され、15人が同月12日に処刑されました。青年将校15人の銃殺は、午前7時から5人ずつ3回に分けて執行され、棺に入った遺体は、刑死後時間をおかず遺族に引き渡されたといわれています。

処刑されたはずの青年将校に中国で遭遇したという証言を残した一人は、盛岡出身の画家の深沢紅子さんです。

深沢紅子さんのモデルで弟子でもある西真理子さんが、二十数年の交流を日記にまとめた著作「深沢紅子先生のけもない話」（企画・編集銀の鈴社）です。

1992年11月16日の項に▽昭和13年に陸軍省から従軍画家として中国行きを要請された。中国に渡ると特務機関の「Y」さんがすべてを世話してくれた▽日本に帰りYさんの話をすると「あのYさんは生きていたんだ」と言う人がいた▽Yさんは二・二六事件の犯人の青年将校の一人だった—と証言しています。

二・二六事件で刑死した将校で姓のイニシャルがYは安田優（やすだ ゆたか）だけ。砲兵少尉の安田は、斎藤実の襲撃部隊リーダーの一員です。

もう一人証言を残したのは、埼玉県在住の事件当時歩兵第一連隊の二等兵です。新編埼玉県史別冊「雪未だ降りやまず（続二・二六事件と郷土兵）」に首相官邸襲撃の指揮官で所属部隊の教官だった林八郎少尉との再会を書き残しています。

「渡満後、林教官に再会した。昭和12年11月かと思う。戦闘で負傷し野戦病院に入院した際、見舞いかたがたの面会に。林教官は「俺だよ、林だよ」と名乗り、蒙古の親衛隊に所属し病院の事務室で名簿に歩兵第一連隊の入院兵がいるのを知り面会に来た」と書いています。

中国で遭遇したと考えられる青年将校の安田、林の二人は、処刑の第3陣で階級は少尉と同じです。もはや調べる方法もないのですが、偶然の一致なのでしょうか。

